

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道、電気及び流域下水道の5事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の405億5,890万円に比べ、220億5,249万1千円、54.4%の増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	令和2年度 当初予算額 (A)	令和元年度 6月補正後 予算額 (B)	比較	
			増 (A) — (B)	伸び率 (A) — (B) / (B)
病院事業	7,295,625	7,102,419	193,206	2.7
水道事業	17,670,426	15,946,457	1,723,969	10.8
工業用水道事業	13,518,099	15,308,064	△1,789,965	△11.7
電気事業	765,405	2,201,960	△1,436,555	△65.2
流域下水道事業	23,361,836	—	23,361,836	皆増
合計	62,611,391	40,558,900	22,052,491	54.4

(注) 令和元年度当初予算は骨格的予算のため、6月補正後ベースで比較してあります。

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入している県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 770床

(イ) 患者数

	年間	1日平均
入院患者数	213,525人	585人
外来患者数	172,172人	709人

イ. 収益的収支 収入 5,371,326千円 資本的収支 収入 1,549,434千円
支出 5,342,598千円 支出 1,953,027千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が30億889万6千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が23億6,243万円で、合わせて53億7,132万6千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が51億9,134万6千円、支払利息等の医業外費用が1億5,125万2千円で、合わせて53億4,259万8千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、令和2年度は2,872万8千円の経常利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債5億5,700万円や県費負担金3億9,243万4千円など、合わせて15億

4,943万4千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費5億7,170万8千円や企業債償還金6億8,771万9千円など、合わせて19億5,302万7千円を計上しています。

ウ. 令和2年度の事業運営

県立こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組を、県立一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの取組を、また、県立志摩病院においては、指定管理者による運営のもと、診療機能の回復・充実を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組をそれぞれ進め、県民の皆さんに良質で満足度の高い医療サービスを提供していくとともに、引き続き経営改善に努めていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）により、水道用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 71,537,648m³

1日平均給水量 196,532m³

イ. 収益的収支	収入	9,746,382千円	資本的収支	収入	3,135,344千円
	支出	9,431,007千円		支出	8,239,419千円

収益的収入は、給水収益87億2,961万5千円及びその他営業収益を合わせた営業収益87億4,374万円と長期前受金戻入7億8,084万6千円等の営業外収益10億264万2千円です。

収益的支出は、人件費、動力費、減価償却費等の営業費用87億8,566万8千円と支払利息等の営業外費用6億4,333万9千円が主なものです。

以上の結果、187万2千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、他会計補助金7億4,119万6千円と長期貸付金償還金11億5千万円が主なものです。

資本的支出は、中勢水道改良費等の建設改良費63億677万8千円、企業債償還金等の償還金19億3,264万1千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、中勢水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	R2	45,073	45,073	既設設備の改良
北勢水道改良事業	R2	1,881,293	1,881,293	既設施設の改良
中勢水道改良事業	R2	3,542,608	3,542,608	既設施設の改良
南勢水道改良事業	R2	778,693	778,693	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 91社
- (イ) 年間総給水量 216,864,600m³
1日平均給水量 594,150m³

イ. 収益的収支 収入 6,289,207千円 資本的収支 収入 4,669,519千円
支出 6,041,543千円 支出 7,476,556千円

収益的収入は、給水収益56億8,182万7千円及びその他営業収益を合わせた営業収益59億2,126万6千円と長期前受金戻入3億5,538万2千円等の営業外収益3億6,794万1千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用57億4,146万7千円と支払利息等の営業外費用2億9,807万6千円が主なものです。

以上の結果、590万7千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債40億9,200万円と他会計出資金3億2,117万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良費等の建設改良費63億7,631万7千円と企業債償還金11億23万9千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北伊勢工業用水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	R2	13,873	13,873	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	R2	5,828,494	5,828,494	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	R2	130,449	130,449	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	R2	202,331	202,331	既設施設の改良

(4) 電気事業会計

三重ごみ固形燃料発電所でのRDFの焼却・発電は、令和元年9月17日をもって終了し、同年12月21日には電気事業法における三重ごみ固形燃料発電所を廃止いたしました。

今後は、関係部局等と協議・調整のうえ、関係市町等と連携し、RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向けて取り組めます。

ア. 業務の予定量

施設撤去等事業 140,000千円

イ. 収益的収支	収入	2,029千円	資本的収支	収入	901,988千円
	支出	765,405千円		支出	一千円

収益的収入は、受取利息124万8千円等の営業外収益202万9千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、固定資産除却費等の営業費用4億5,771万5千円と特別損失3億円が主なものです。

以上の結果、7億3,958万9千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、長期貸付金償還金9億198万8千万円です。

(5) 流域下水道事業会計

流域下水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町及び川越町を対象とした北勢沿岸流域下水道（北部処理区、南部処理区）、津市、松阪市及び多気町を対象とした中勢沿岸流域下水道（志登茂川処理区、雲出川左岸処理区、松阪処理区）、伊勢市、明和町及び玉城町を対象とした宮川流域下水道（宮川処理区）により、公共用水域の水質汚濁防止や生活環境の改善等を目的に、汚水処理を行っています。

ア. 業務の予定量

年間総処理水量 83,672,000m³

1日平均処理水量 229,238m³

イ. 収益的収支 収入 14,414,520千円 資本的収支 収入 8,316,837千円
 支出 14,335,096千円 支出 9,026,740千円

収益的収入は、維持管理負担金収益62億4,894万円及びその他営業収益を合わせた営業収益62億7,424万円と長期前受金戻入72億9,549万3千円等の営業外収益80億7,728万円が主なものです。

収益的支出は、委託費、減価償却費等の営業費用134億400万5千円と支払利息等の営業外費用8億5,721万6千円が主なものです。

以上の結果、1億8,491万5千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債17億8,030万円、補助金51億4,458万5千円、負担金13億9,195万2千円です。

資本的支出は、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業等の建設改良費60億2,566万7千円、企業債償還金の30億107万3千円です。

ウ. 主な建設改良計画

南部浄化センターでは、汚水量の増加に対応するため、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業において、第2期建設事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
国補北勢沿岸流域下水道 (北部)建設事業	R2	873,654	873,654	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補北勢沿岸流域下水道 (南部)建設事業	R2	3,701,594	3,701,594	処理施設の増設、更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道 (志登茂川)建設事業	R2	113,400	113,400	幹線管渠の延伸等
国補中勢沿岸流域下水道 (雲出川左岸)建設事業	R2	63,000	63,000	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道 (松阪)建設事業	R2	126,003	126,003	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補宮川流域下水道 (宮川)建設事業	R2	1,066,761	1,066,761	幹線管渠の延伸、更新・長寿命化対策、地震対策等

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。